



グレゴリーの誓約書

懇談の中で、次の質問がいくつか寄せられました。

「YouTubeにはまってしまっつついつい長時間見てしまうんです。」

「止めなければいくらでもゲームをしているんですけど、どうすればいいですか？」

私の家でも、同じくYouTubeが子どもたちに大人気です。

それをスマホやタブレットで見るわけですが、何らかのルールが無ければ、無法地帯になることは想像に難くありません。

では、どんな風にその家庭内のルールを作ったり運用していくかという、これも結構難しいというのが本音です。

その際は、お手本となるモデルケースや信頼できるエビデンスに頼ることもいいかもしれません。

まず、私が保護者の方に良くお伝えしているのが、「グレゴリーの誓約書」という一つのモデルケースです。

13歳の誕生日にiPhoneをプレゼントされたグレゴリーくん。その時にお母さんが一緒に渡したのが一通の誓約書でした。抜粋で紹介します。

グレゴリーへ、
メリークリスマス！あなたは今日からiPhoneの所有権を持つことができます。やったね！責任感のあるお利口な13歳なので、このプレゼントはあなたに相応しい。しかし、このプレゼントと受取すると同時にルールや規則が付いてきます。以下の使用契約をゆっくり読んでください。私の親としての仕事も分かって欲しい。あなたを健康で豊かな人間性を持った、現代のテクノロジーうまく活用していける大人に育てなければならないということを。以下の規則を守ることができなかつた場合、あなたのiPhone所有権も無くなります。あなたが大好きでたまりません。あなたと何百万個ものメッセージ交換をするのが楽しみです。

1 これは私の携帯です。私が買いました。月々の支払いも私がします。あなたに貸しているものです。私ってやさしいでしょ？

- 2 パスワードはかならず私に報告すること。
- 3 これは電話です、鳴ったら必ず出ること。礼儀正しく「こんにちは」と言いなさい。発信者が「ママ」か「パパ」だったら必ず出ること。絶対に。
- 4 学校がある日は 7:30pm に携帯を私に返却します。週末は 9:00pm に返却します。携帯は次の朝の 7:30am まで電源オフになります。友達の親が直接出る固定電話に電話出来ないような相手ならその人には電話も SMS もしないこと。自分の直感を信じて、他の家族も尊重しなさい。
- 5 iPhone はあなたと一緒に学校には行けません。SMS をする子とは直接お話しなさい。人生のスキルです。注：半日登校、修学旅行や学校外活動は各自検討します。
- 6 万が一トイレや床に落としたり、無くしたり、破損させた場合はの修理費用は自己負担です。家の芝生を刈ったり、ベビーシッターをしたり、お小遣いでカバーしてください。こういうことは起こります、準備してください。
- 7 このテクノロジーを使って嘘をついたり、人を馬鹿にしたりしないこと。人を傷つけるような会話に参加しないこと。人のためになることを第一に考え、喧嘩に参加しないこと。
- 8 人に面と向かって言えないようなことをこの携帯を使って SMS やメールでしないこと。
- 9 友達の親の前で言えないようなことを SMS やメールでしないこと。自己規制してください。
- 10 3 写真やビデオを膨大に撮らないこと。すべてを収録する必要はありません。人生経験を肌身で体験してください。すべてはあなたの記憶に収録されます。
- 11 4 ときどき家に携帯を置いて出かけてください。そしてその選択に自信を持ってください。携帯は生きものじゃないし、あなたの一部でもありません。携帯なしで生活することを覚えてください。流行に流されない、FOMO (自分だけが取り残されるていると思ってしまう不安感) を気にしない器の男になってください。
- 12 7 上を向いて歩いてください。あなたの周りの世界を良く見てください。窓から外を覗いてください。鳥の鳴き声を聞いてください。知らない人と会話をもってみてください。グーグル検索なしで考えてみてください
- 13 8 あなたは失敗する。そのときはこの携帯をあなたから奪います。その失敗について私と話し合います。また一からスタートします。あなたと私はいつも何かを学んでいる。私はあなたのチームメイトです。一緒に答えを出して行きましょう。

この条件を合意してくれることを願っているよ。ここにリストしてあるほとんどの条件は人生をうまく生きるための条件にも当てはまるものだから。あなたは常に激変していく世の中で成長しています。とてもエキサイティングで気を引く体験だと思う。できるだけシンプルに物事を考えて行ってください。どんな機械やガジェットよりも自分のパワフルな考え方と大きな心を信じてください。あなたが大好きなのよ。あなたの素晴らしい iPhone を楽しんでね。

母より

ここで大切なのは、赤字で示した「所有者を確定すること」だと思っています。

「これは私の携帯です。私がいきました。月々の支払いも私がします。」と明確に所有権を宣言することで、魅力的なデバイスは「使えて当然」というものではなく「使えて有難い」という状況が生まれやすくなります。

そして、一見厳しそうな内容を伝えながらも「私ってやさしいでしょ？」というユーモアを忘れない点も素敵ですね。

我が家でも、ルールを守らなければ使えなくなるという点は同じく伝えてあります。

そして、ルールを守り続けられれば使い続けられることも伝えていきます。

例えば、我が家の娘は YouTube を見る時は決まって次の言葉を発します。

「ハイシリ、タイマー30分かけて！」

自分で SIRI に向かってタイマーをセットするように言い、見終わったら端末を私に来ることになっています。

自分でタイマーがかけられたことも褒められますし、自分でルールを守って見終わるというルールも習慣化しやすいので、我が家ではこの方法を採用しています。

他にも、各ご家庭で色々なルールの運用方法があるかと思います。

「我が家はこんな風になっています」というアイデア等、もしよければ登校ページで教えてもらえると嬉しいです。

<https://docs.google.com/forms/d/1DoRWC86GgFFKayOoi7CTk6XcbykJgZ7y9xbvViZBZ-k/edit>

尚、「どうして1時間なの？」「30分以上はダメなのはなんで？」と聞かれた時の対処法も懇談で話題に上がったんですが、これについて書き始めると長くなるので号を分けます。

「なぜそれをするのか」ということの説明を「趣意説明」と言いますが、ここに納得が生まれるか否かは教育において極めて重要です。

もし、ご家庭でお子さんにこの質問をされた時の返し方なども登校ページに寄せてもらえると嬉しいです。

みなさんで知恵を出し合いながら、SOLAN での学びを創っていきたいと思っています。(文責：渡辺道治)